

非常変災時の措置について

大雨・台風・地震等の非常変災時の措置につきまして、下記によりお知らせいたします。かかる状況が生じた場合は、これにもとづいて対応していただきますようよろしくお願いいたします。

記

◎ 台風や大雨による『暴風』『大雨』『洪水』の **警報** もしくは **特別警報** のいずれかが「豊中市」もしくは「豊中市を含む地域」に発令中の場合

①登校前

時刻	警報	学校	給食
～午前7時まで	発令中	自宅待機	
	解除	通常通りの授業	給食あり
午前7時以降 午前10時まで	発令中	自宅待機	
	解除	解除次第集団登校 通常通りの授業	給食あり
午前10時以降	発令中	臨時休業	

時刻について

まで⇒□時59分時点

以降⇒□時00分時点

保護者へはメールと連絡網の2系統で登校のお知らせを行います。

☆学校：「学校連絡メール」による配信⇒保護者

☆学校⇒地区委員長⇒地区委員：「地区連絡網」による電話もしくはメール⇒保護者

◎原則、登校班ごとに集合して登校します。登校する時刻は、児童の安全を第一に考え、警報解除から30分後を目安とします。

②登校後

- ・教育活動を停止せざるを得ないと判断した時は、児童の安全確保に努め、地区ごとに集団下校するか学校に待機させるなど適切な措置を講じます。
- ・PTA地区委員さんとの連絡を密にし、協力を得て混乱を生じないように努めます。

※下校中の状況が児童にとって危険と思われる場合は下校しません。(学校待機)

※下校することになった場合について

保護者へはメールでお知らせを行います。ご家庭に保護者又はそれに代わる方が不在の場合、その児童は下校させず学校待機となります。(後で保護者又はそれに代わる方のお迎えをお願いいたします。) ご家庭が不在の場合でも、下校後の児童の対応についてご近所や知り合いのご家庭に願ひするなどの方策が決まっている場合は、集団下校が可能です。事前にご家庭でご相談いただき、その旨を児童にも知らせていただきますようお願いいたします。また、緊急に集団下校することになった場合、なるべく多くの大人の人数を確保して児童の安全を確保したく考えます。そのため、地区委員さんであるなしに関わらず、集団下校時の見守りに保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

◎ 豊中市内に震度5以上の地震が発生した場合

①早朝で登校以前 **自宅待機** 甚大な被害が生じた時、本校も一時避難場所ですが、府立刀根山高等学校、市立とねやまこども園、府立刀根山支援学校、各集会所なども緊急避難場所となります。

②登校後

- ・学校施設は緊急の避難所にもなっておりますが、まず子どもの安全確保に努め、保護・監督にあたります。
- ・児童は学校で待機し、原則保護者又はそれに代わる方のお迎えをお願いいたします。震度5以下であっても通学路の安全や被害状況等によっては、学校待機といたします。
- ・登校中又は下校中に大きな揺れを感じた時は、家に帰るのか学校へ行くのかは各ご家庭でお話をしてください。家に保護者の方がいない時は、学校へ避難するようにさせてください。

※非常変災時の対応にあたっては、児童の生命の安全確保を最優先します。

※非常変災時の対応の仕方等について、ご家庭でも日ごろから児童を交えて話し合いをお願いします。特に警報が出そうな日の前日は、具体的にどうするかという話をしておいてください。

※非常変災時に、保護者の判断で子どもの安全確保上の問題から登校させなかった場合は「欠席」ではなく「出席停止」扱いとします。当日の連絡が困難な時は、事後でも結構ですので連絡帳などでご連絡ください。

※臨時休業になった場合、放課後子どもクラブ（ひまわり学級）は休止します。なお、登校後の警報発令については、放課後子どもクラブの規定をご確認ください。

◎ 子どもの安全に関わって、不審者対策

近年、不審者による子どもたちへ不安を与える事案が増えております。また、電話などによるいたずらも後を絶ちません。以下の点につきましても、ご理解とご協力をお願いいたします。

学校への通報、連絡などで、子どもたちの安全確保が必要になった時、以下の3つの段階で、子どもの安全確保に努めます。また、集団下校などの措置をとった場合、保護者の皆様への事由報告は、必要に応じて口頭または文書でお伝えします。

① **グループ下校**
(レベル1)

1. 学年毎に3～4地域に分けて、一斉下校します。
2. 教師は引率しませんが、校区巡視を適宜実施いたします。
3. 地区委員さんは学校からの指示があった時、集合場所に立って頂きます。
4. レベル1では地区委員さんのみの連絡となりますが、必要に応じて「学校連絡メール」でお知らせします。

② **集団下校**
(レベル2)

1. 全校一斉に地区毎に集団下校します。
2. 教師も集団登校班、集合場所まで引率します。
3. 地区委員さんは担当教師から引き継いで子どもを自宅近くまで送ります。
4. 「学校連絡メール」に加えて、地区委員の連絡網により全家庭に連絡します。

③ **学校待機**
(レベル3)

1. 子どもたちは学校内で待機します。
2. 「学校連絡メール」に加えて、地区委員の連絡網により全家庭に連絡し、保護者の方は学校まで子どもを迎えに来ます。

※ ひまわり学級の子どもたちについては、豊中市子ども未来部こども事業課の指示を得た上で、安全確保に努めます。

<お願い>

- ①非常変災時や不審者対策に関わっては、緊急度が高いほど学校の電話は重要になります。しかし、学校の電話は2回線しかなく、これまでも緊急時に多くの電話が学校へかかり、教育委員会や関係機関、保護者への大切な連絡が通じないことがありました。今後も学校への直接の問い合わせは、控えていただくよう重ねてお願いいたします。
- ②「学校連絡メール」でも必要に応じて情報の配信を行います。まだ登録をされていない場合は、ぜひ登録をお願いします。(「学校連絡メール」に返信はできません。)